

「compal ハルイロ classic 渡邊 智道 ソロリサイタル」

3 総合

(第3種郵便物認可)

古里で2年ぶりのソロリサイタルを
開くピアニスト



昨年、ホロピッツら往年の巨匠
が使用した名器ニューヨーク・ス
タインウェイ「CD75」で制作し
たアルバムをリリース。新盤を引
っ揚げ、13日に大分市コンパルホ
ールのステージに立つ。「ハルイ
ロ」がテーマで、演奏するシュー
ベルト「春の信仰」を「雪や寒さ
に覆われた苦しい世界から、いつ
の日か春に到達するだろう」とう
曲。今の世の中に合っている」と
解説。「聴きに来て、他の曲にも

ひと 「ハルイロ」を聴きに来て

興味を持ってほしい」

別府市出身。幼少の頃から音楽
が好きで、記憶では5、6歳から
ピアノを始めた。スポーツや他シ
ヤンルの音楽にも興味を持ち経験
したが、東京芸術大音楽学部付属
音楽高の受験を決めた中学時に、
本格的にクラシックの道へ進むこ
とを決断した。同大卒業。

2016年に日本音楽コンクー
ル・ピアノ部門で入賞した後は、
過去の偉大な作曲家や楽器職人ら
が体現し伝えようとしていた奏
法、響きを追究。作曲、協奏曲客
演、伴奏、室内楽、文筆など独自
の活動を幅広く展開している。

東京・根津で管理するスタジオ
を持ち、コロナ禍でも、オリジナ
ルのCDと雑誌を制作し配布して
きた。文学と音楽は「切っても切
れない関係」と、小説にも親しむ。
敬愛する音楽家はラフマニノフで
「歴史上にさんぜんと輝く才能。
話し出すと止まらない」。横浜市
で暮らす。
(高橋桂子)

渡邊 智道さん (30)